



風見利男 日本共産党 港区議会議員
区政とあなたを結び
96

みなさんの地道な運動と党区議団の質問が実る

10月1日から介護保険料・利用料の負担軽減を実施

安心できる介護保険制度に向け、引き続き運動を

港区は、九月五日の区議会保健福祉常任委員会で、区独自の介護保険料・利用料の軽減策を十月から実施すると報告しました。

今回の軽減策で対象になるのは、第一号保険者(二六五才以上)の所得段階が第二段階の人(世帯全員の区民税が非課税)で、①世帯の収入額が生活保護基準額の概ね一・一五倍以下、②預金額が三百万円以下、③課税されている人に扶養されているいないこと、④介護保険料を滞納していないこと、すべての要件を満たしている人です。

保険料は七百七十円軽減し千五百二十円(第一段階と同額)に、利用料は一ヶ月当たり一万五千円(第一段階の負担上限額)を超え、二万四千六百円(第二段階の負担上限額)以下の負担分について二分の一の助成(最高額四千八百円)となります。

党区議員団(七名)は、代表質問など機会ある毎に区独自の減免制度実施を含めた介護保険問題を取り上げて来ました。地域からは四件の「減免制度を求める請願」(継続扱い中)が提出されています。

党区議団は保険料・利用料の「減免条例」提案を準備し、各会派に協力を要請。そのような中、二千一年度予算特別委員会で全会派一致で「保険料・利用料の軽減実施」の要望書を原田区長に提出。区長は「十月実施に向け検討」を表明していたものです。

「減免は実施しない」と言い続けた区長の態度を変えさせたのは区民のみならず、今回の軽減策は対象者の中で、区の推計でも六百人程度にすぎません。予算規模も八百万円程度です。

党区議団は引き続き、生活実態や介護実態に見合う軽減策の実現にむけ、がんばります。

所得段階	該当者
1	生活保護を受けている人 世帯全員の区民税が非課税で、本人が老齢福祉年金受給者
2	世帯全員の区民税が非課税
3	世帯員の中に区民税が課税されている人がいるが、本人の区民税が非課税
4	本人の区民税が課税されている人で、合計所得金額が250万円未満
5	本人の区民税が課税されている人で、合計所得金額が250万円以上

第3回定例会

介護保険の減免の充実など

いのくま正一区議が代表質問

第三回定例会が九月十一日から二十一日の予定で開かれました。

十三日の本会議で、いのくま区議が党区議団を代表して、区長、教育長、議長に質問しました。質問項目は次の通りです。区議会の詳細は次号でお知らせします。

- ① 介護保険の保険料、利用料の減免制度の充実を、特養ホームの建設促進
- ② 都バス路線の復活を
- ③ 若い世代が住める低廉な家賃住宅建設を
- ④ 都市型水害対策の強化を
- ⑤ 固定資産税・相続税の大幅軽減を求める区民大会の引き続きの開催を
- ⑥ 金融機関が強引な回収をしないような申し入れを
- ⑦ 商品券事業の安定的な運営ができるような支援を
- ⑧ 東京湾華火大会従来の抽選方式にもとせ
- ⑨ 芝公園の破壊を許さないために
- ⑩ 国際興業用地(芝公園内)と浜二用地(区有地)の交換は区民の声を聞け
- ・ 氷川小跡地の特養ホームの入札について

党区議会議員の委員会所属が変わります

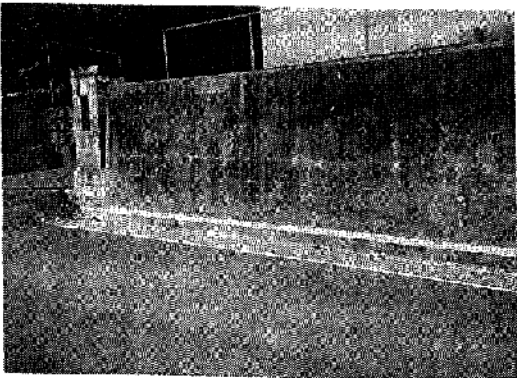
- 〔区民文教委員会〕
熊田 ちづ子
沖島 恵美子
- 〔議会運営委員会〕
いのくま正一
風見 利男
- 〔特別委員会〕
〔自治権・地方分権対策〕
◎風見 利男
熊田 ちづ子
- 〔交通・環境対策〕
いのくま正一
星野 喬
- 〔防衛庁跡地等調査〕
◎沖島 えみ子
藤田 五郎
- 〔建設委員会〕
星野 喬
風見 利男
- 〔総務委員会〕
◎いのくま正一
北村 利明
- 〔保健福祉委員会〕
藤田 五郎
- ◎委員長 ◎副委員長
北村 利明

都市型水害対策各地ですすむ

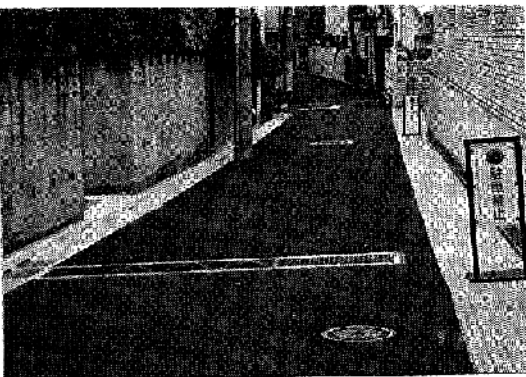
共産党区議団が一貫して改善を要求

一昨年来の集中的な豪雨によって、区内各地で水害が多発しています。「裏に住んでいるおばあさん、もう少しのところで床上浸水で命が危なかった。私が救い出そうと思って表に出たが、胸までつかってどうしようもなかった」、「出かけていても、雨が降り始めると慌てて帰ってくる」、「海も川もない白金台の水害は人災だ」、「立山臺地の擁壁がナイアガラの滝のようになり、みるみるうちにヒザまで浸水し、生き心地がしなかった」住民のみなさんの怒りの声です。党区議団は、一昨年の八月二十九日の豪雨による水害が発生して以来、本会議

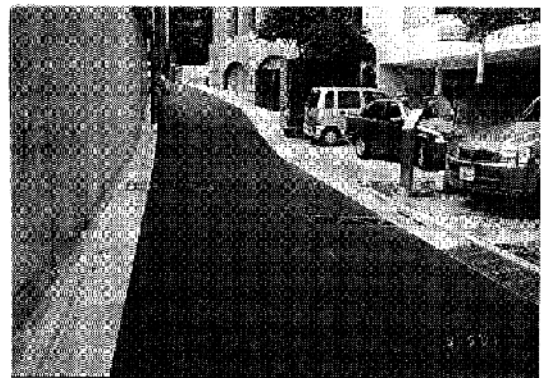
での代表質問や予算・決算特別委員会など機会ある毎に対策を要求してきました。被害を受けた住民からは、港区や東京都に対策を求めるとともに、区議会には「請願」が提出され、全会一致で採択されています。党区議団の要求もあり、港区の土木維持課を中心に、都下水道局、都建設局などで「雨水対策検討委員会」を設置し、「港区内溢水箇所の短期的・中期的な対策」の検討が行われると共に、具体的な改善がすすんでいきます。引き続き、港区で水害が発生しないような対策の強化を要求しています。



改善された立山臺地下の側溝



透水性舗装と排水溝を新設(音羽7丁目)



透水性舗装と排水溝を改善(米沢5丁目)



特殊な側溝の工事が進む(音羽2丁目)

長寿を祝う会

千七百余名が集う

九月十四日、メルバルクホールに於て『長寿を祝う会』が開かれ、区内の七十五歳以上の高齢者が集いました。祝う会は午前の部には三田、高輪地区から九百三十三名、午後の部には愛宕、麻布、赤坂地区から八百二十四名が参加しました。第一部では区長、社会福祉協議会会長、議長等が挨拶、参加者代表に芝公園保育園の可愛い園児が嬉しいの言葉と花束を贈呈。第二部では、中国雑技団の曲芸、竜小太郎の舞踏つづいて、各地域の老人会の日頃の成果を生かした出し物が披露されました。党区議団は、長寿を祝う会への参加がしやすいように、送迎バスの実施を提案、平成九年度からバスが運行されるようになり、今年はバスが三台運行され、いっそう参加しやすくなりました。